

令和 5 年 4 月 18 日

自治会町内会長 各位

旭区区政推進課長

## 「げんきな旭区って？SDGsな街 旭区」の発行について

日頃より、旭区政の推進に御協力いただきお礼申し上げます。

旭区では、区政運営方針の基本目標『子育て世代をはじめ多くの方々に選ばれ続ける「ふるさと旭」』を実現するため、『SDGs未来都市・横浜』の郊外部モデルの構築を目指しています。

地域で支え合い安心して自分らしく暮らせる「楽しい街」を目指して、様々な団体と自治会町内会などの地域の方々との、スキルやネットワーク・組織力などそれぞれの強みを活かしたパートナーシップの輪が、区内の様々な地域で広がり始めています。

パートナーシップの輪がさらに広がっていくきっかけの一つとして、区内3地区（希望が丘南・左近山・若葉台）での連携の取組や効果を「見える化」するパンフレットを作成しましたので、ご高覧いただけますと幸いです。

担当 旭区役所区政推進課企画調整係 松永、川井  
電話 045-954-6027 FAX 045-951-3401

# ● こんなことやれたら楽しい!

● 自治会・商店会・地区社協・地域ケアプラザ・学校・様々な支援拠点・NPO・企業・行政等が連携した活動で、楽しい街に!

○ 旭区内外の様々な活動を参考に、楽しい活動にチャレンジしてみませんか。

## ● シニア

- ① シニアサロン: 地域の中でシニアが気軽に集える場として、おしゃべり会・軽体操・脳トレ、食事のサービス等を開催。(横浜市生活介護補助事業等)
- ② 認知症カフェ: 認知症当事者やその家族等の集いの場、ケアプラザとも連携して、お茶を飲みながらお話会の開催。
- ③ 移動販売: 見守りにもつながる買い物困難者への移動販売。
- ④ コミュニティバス: 住民主体の移動サービスの提供。

## ● こども

- ① こうのとりのカフェ: 妊産婦夫婦のための助産師へもつながった、お茶を飲みながらの傾聴・相談のカフェ。
- ② 赤ちゃんカフェ: 生後4カ月程度までの、ハイハイ前の赤ちゃんを持つ親子のための、お茶・ケーキを飲みながらの傾聴・相談のカフェ。
- ③ まち保育的活動: 子どもの主体性を大切に、数家族が、みんなで近所をお散歩。地域の中で、顔の見える関係づくりに繋がっています。
- ④ 子ども第3の居場所を地域のボランティアの連携で支えています。(民間財団の補助事業など)

## ● 環境

- ① SDGs勉強会: 社協やNPOが協働で、講師を呼んで、自分事にするワークショップを開催し地域のSDGs活動を進めています。
- ② 知部: 団体用農園区画等で、農作業、ボランティアの畑の先生に教えてもらいながら、子どもも参加して、親子の農体験を実施。
- ③ エシカル知: 地主の耕作放棄地を、有志で開墾して、有機農法にチャレンジしています。
- ④ 養蜂事業: 庭や屋上で、西洋みつばちを飼って、養蜂事業を展開中。
- ⑤ コミュニティガーデンづくり: 地域住民が中心となり、地域の緑化を進めています。(横浜市みどりアップ計画に基づいた補助事業・地域緑のまちづくり)

## ● 音楽・アート

- ① コミュニティカフェ等での各種音楽ライブや写真展、絵画展等の開催
- ② 商店街ライブ: 季節ごとの駐車所等での住民主体の音楽イベント。
- ③ ショッピングセンターの駐車場で「盆踊り大会」「夏祭り」の開催。
- ④ 公園や公共施設を借りたアートイベント: 年2回の活動団体の文化祭的な催し物、季節のWS(夏: スイカわり、冬: Xmasグッズづくり等)

## ● 地域防災

- ① 防災フェス: 地域の様々な施設や企業などと連携して、楽しい防災体験会を開催。
- ② 自治会がSNSを利用した安否確認の避難訓練を実施。

## ● ダイバーシティ

- ① 障がい者アート: 障がい者のアート作品等をマルシェやギャラリーや作業所等で、展示・販売等を行っています。
- ② 課題をかかえた子どもの親同士のお話会: 不登校や、進学等について当事者の親御さんのお話を月1回行っています。
- ③ 「子ども食堂»: ボランティアによる、近隣の親子のために安価な食事提供を行う会です。
- ④ フードバンتری: フードバンクなどと連携して、フードロス品の提供などを受けることもできます。



# まなまな

旭区って?  
SDGsな街 旭区



若葉台のまちづくりを、自治会や県公社とも連携して、運営の継続性も考えながら活動しています。



● 自治会・商店会・地区社協・地域ケアプラザ・学校・様々な支援拠点・ボランティア団体・NPO・企業・行政等が連携した活動で、楽しい街に!



アーティストや大学生、子ども達を巻き込んだ楽しいまちづくりを一緒に取組んでいます。

色々な活動を緩やかにつないで、「あたたかな」活動を、様々な人をまき込んで、進めています。



# 楽しい街に！ 最初の一步

様々な団体・地域の皆さんが、スキルやネットワーク・組織力などそれぞれの強みを活かして、もっと「楽しい街に！」するためのパートナーシップの輪が、旭区内の様々な地域で広がり始めています。  
3地域での取組や効果を「見える化」しましたので、他の地区でも、まず、「最初の一步」をふみ出しましょう！

## 「様々な団体・地域の皆さんが いっしょにやると こんな事が出来ました」

### ● 最初の一步のコツ

● 様々な団体も地域の皆さんも、それぞれの目的にそって活動しています。連携するための大切なポイントは、

- ① 小さな取組活動ごとに連携をする。
- ② 自分が得たい事、相手が得たい事を尊重する。
- ③ 地域ケアプラザ、区役所などの第三者を巻き込むことです。

「最初の一步」のご相談は・・・  
・旭区役所地域力推進担当  
(045-954-6028)  
・各地区の  
地域ケアプラザ



### ● 活動団体の紹介

#### ■ 希望が丘南地区：ハートフル・ポート

##### ● 地区社協×「NPOハートフル・ポート」

希望が丘の住宅街にある住み開きのコミュニティカフェ「ハートフル・ポート」では、カフェ、イベント、まちづくり活動、希望が丘南地区での関連団体等との連携活動、場づくりを行いつつ、住み開き・空き家を使った居場所づくりなどに関する相談・講演も行っています。



### ● こんなことやってみた！

#### ■ 地区社協とハートフル・ポートの主な連携活動

- 1 SDGsセミナーの開催  
地区社協やケアプラザ等と連携して『SDGsって何?』を地区社協の各部会や中学生も交えて開催して、SDGs活動を自分ごととして考えてもらう会を開催しました。
- 2 子ども第3の居場所を地域連携で実現へ  
「かけはし」や地域の活動団体と連携して、子ども第3の居場所の実現に向けて活動中です。
- 3 ボランティアネット（地域のボランティア連絡会）  
高齢者支援の生活支援組織「ちよこっと応援団」の事務局も担っていることもあり、地域の様々なボランティア団体の連携にも協力しています。



### ● ここがありがたい！

#### ■ 連携の効果：応援し合う関係

- **ハートフル・ポートが、がんばっている事**  
SDGsワークショップや助成金の申請を通した子ども支援など、地域で地区社協、ケアプラザとつながって、地域課題の改善をしようとして活動しています。
- **地区社協としては、これがありがたい！**  
「熱い気持ち」を持って、社協と一緒に、様々な人を巻き込んで、精力的に活動してくれています。「志」が有る方々と共に活動できることが心強いです。



#### ■ 左近山地区：左近山アトリエ

##### ● 「NPO法人オールさんやま」×「左近山アトリエ」

左近山アトリエは、左近山商店街に2019年から、カフェ兼アート拠点である「左近山アトリエ131110」を運営。様々なまちづくり活動を展開中。2014年から「左近山アートフェスティバル」を3年間開催。左近山団地における大学生による地域活性化支援もおこなっています。



#### ■ オールさんやまと左近山アトリエの主な連携活動

- 1 「左近山アトリエ131110」  
商店会とともに、クリスマスイベントの企画運営など、左近山に住む人の「表現したい」を実現しています。やりたい事実現の相談も可能です。
- 2 「サコロボ」の支援  
左近山団地をフィールドに活動したり入居したりしている大学生団体である「サコロボ」による地域活性化の取組を支援しています。
- 3 左近山オープンデータプロジェクト  
左近山団地の様々な、データ化を、20数名の若手人材を集めて深堀し、今後の団地再生に生かしていく取り組みを進めています。



#### ■ 連携の効果：得意分野を活かす

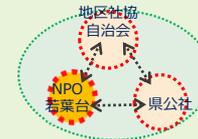
- **左近山アトリエが、がんばっている事**  
地縁団体のNPOオールさんやまが運営する「ほっと左近山」と住み分けしながら、アートや、質にこだわって、イベントに集まる若い世代と団地をつなげています。
- **自治会としては、これがありがたい！**  
クリスマスイベント等、左近山アトリエの企画で若者も大勢、来てくれました。オープンデータなど、新しい視点が得られました。



#### ■ 若葉台地区：NPO 若葉台

##### ● 地区社協×県公社×「NPO若葉台」

障がい者福祉、子育て支援、シニアの活動に加えて、令和4年度から「わかばダイバーシティスペースWakka」でのワーキングスペース、作業所、本屋カフェも併設し、オープンスペースの運営を開始しています。その他、各分野の事業を自治会や県住宅供給社とも連携しながら展開中です。



#### ■ 自治会とNPO若葉台の主な連携活動

- 1 「わかばダイバーシティスペースWakka」  
旧本屋さんの空き店舗に、多世代交流拠点として、ワーキングスペース、障がい者の作業所や交流スペースを利用したまちづくり活動を展開しています。
- 2 「たんぼぼ」でのシニア中心の居場所活動  
シニアサロンと食事提供等によるシニアの居場所事業：横浜市生活介護支援事業（サービスB）
- 3 「ふれあいにし」  
旧若葉台西中学校を利用し、お野菜を育て、カフェ運営、地域型作業所「ぶんげいざ」等を運営しています。



#### ■ 連携の効果：信頼を積み重ねる

- **NPO若葉台が、がんばっている事**  
自治会や県公社との協調も図りながら、子どもから、シニア、障がい者、そして農も含めた、全てを対象にした団地のまちづくりに取り組んでいます。
- **地区社協としては、ここがありがたい！**  
NPO若葉台は、若葉台団地のまちづくりを、中心的に、精力的に、そして、事業性も考えながら、自治会や地区社協と連携して活動してくれています。

